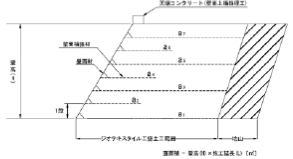
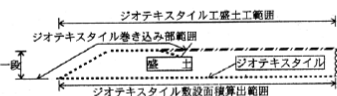


土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤				正		備考																																																																								
<p>関連数量算出項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="3">属性情報</th> </tr> <tr> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブロック積</td> <td>B</td> <td>m²</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込コンクリート</td> <td>A</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> <tr> <td>胴込・裏込材(砕石)</td> <td>A</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> <tr> <td>現場打基礎コンクリート</td> <td>A</td> <td>m³</td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> <tr> <td>排水管敷設工</td> <td>B</td> <td>m</td> <td></td> <td>「第3編(道路編)2.1.1排水構造物工(プレキャスト製品)」参照</td> </tr> <tr> <td>天端コンクリート(壁面上端処理工)</td> <td>A</td> <td>m³</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照</td> </tr> <tr> <td>型枠(壁面上端処理工)</td> <td>B</td> <td>m²</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.2型枠工」参照</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工(壁面上端処理工)</td> <td>B</td> <td>t</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照</td> </tr> <tr> <td>足場工(壁面上端処理工)</td> <td>B</td> <td>掛m²</td> <td></td> <td>「第1編(共通編)11.4足場工」参照</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする。</p> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) ジオテキスタイル壁面材組立・設置の施工量 ジオテキスタイル壁面材組立・設置の施工量は、直面積(壁高×施工延長)とする。 (3) 図、5、参考図(2)参照</p> <p>(2) ジオテキスタイル壁面材(材料費) ジオテキスタイル壁面材(材料費)は規格ごとに壁面材面積当りの鋼製ユニットの個数(個/m²)を算出する(5、参考図(1)参照) なお、施工方法別の数量算出項目、及び壁面材の標準使用量は以下である。</p> <p>1) 施工方法別の数量算出項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工法(工法)</th> <th>適用</th> <th>ジオテキスタイル壁面材組立・設置</th> <th>ジオテキスタイル収設まき出し・敷均し、締固め</th> <th>標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製ユニット工法</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>5. 参考図(1) 図A</td> </tr> <tr> <td>巻込み工法(壁面材なし)</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>5. 参考図(1) 図B</td> </tr> <tr> <td>普通敷設工法(壁面材なし)</td> <td></td> <td>×</td> <td>○</td> <td>5. 参考図(1) 図C</td> </tr> </tbody> </table>				項目	BIM/CIM モデル	属性情報			単位	数量	備考	コンクリートブロック積	B	m ²		必要な場合別途計上	胴込・裏込コンクリート	A	m ³		必要な場合別途計上	胴込・裏込材(砕石)	A	m ³		必要な場合別途計上	現場打基礎コンクリート	A	m ³		必要な場合別途計上	排水管敷設工	B	m		「第3編(道路編)2.1.1排水構造物工(プレキャスト製品)」参照	天端コンクリート(壁面上端処理工)	A	m ³		「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照	型枠(壁面上端処理工)	B	m ²		「第1編(共通編)4.2型枠工」参照	鉄筋工(壁面上端処理工)	B	t		「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照	足場工(壁面上端処理工)	B	掛m ²		「第1編(共通編)11.4足場工」参照	施工法(工法)	適用	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	ジオテキスタイル収設まき出し・敷均し、締固め	標準図	鋼製ユニット工法		○	○	5. 参考図(1) 図A	巻込み工法(壁面材なし)		×	○	5. 参考図(1) 図B	普通敷設工法(壁面材なし)		×	○	5. 参考図(1) 図C	<p>現行どおり</p> <p>削除</p> <p>現行どおり</p>	<p>記載の修正</p>
項目	BIM/CIM モデル	属性情報																																																																												
		単位	数量	備考																																																																										
コンクリートブロック積	B	m ²		必要な場合別途計上																																																																										
胴込・裏込コンクリート	A	m ³		必要な場合別途計上																																																																										
胴込・裏込材(砕石)	A	m ³		必要な場合別途計上																																																																										
現場打基礎コンクリート	A	m ³		必要な場合別途計上																																																																										
排水管敷設工	B	m		「第3編(道路編)2.1.1排水構造物工(プレキャスト製品)」参照																																																																										
天端コンクリート(壁面上端処理工)	A	m ³		「第1編(共通編)4.1コンクリート工」参照																																																																										
型枠(壁面上端処理工)	B	m ²		「第1編(共通編)4.2型枠工」参照																																																																										
鉄筋工(壁面上端処理工)	B	t		「第1編(共通編)4.3.1鉄筋工」参照																																																																										
足場工(壁面上端処理工)	B	掛m ²		「第1編(共通編)11.4足場工」参照																																																																										
施工法(工法)	適用	ジオテキスタイル壁面材組立・設置	ジオテキスタイル収設まき出し・敷均し、締固め	標準図																																																																										
鋼製ユニット工法		○	○	5. 参考図(1) 図A																																																																										
巻込み工法(壁面材なし)		×	○	5. 参考図(1) 図B																																																																										
普通敷設工法(壁面材なし)		×	○	5. 参考図(1) 図C																																																																										
1-6-7																																																																														
(控え頁)																																																																														
1/3																																																																														

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考																																										
<p>2) 鋼製ユニット標準使用量 (直面積100m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 375 857 491"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>タイプ</th> <th>一層当り施工高</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼製ユニット</td> <td>タイプA</td> <td>500mm以下</td> <td rowspan="4">個</td> <td>100</td> <td rowspan="4">5. 参考図(1) 図A</td> </tr> <tr> <td>タイプB</td> <td>600mm以下</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>タイプC</td> <td>600mm以下</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>タイプD</td> <td>600mm以下</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table> <p>(直面積1m²当り)</p> <table border="1" data-bbox="331 510 857 627"> <thead> <tr> <th>壁面材種類</th> <th>タイプ</th> <th>一層当り施工高</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>標準図</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼製ユニット</td> <td>タイプA</td> <td>500mm以下</td> <td rowspan="4">個</td> <td>1.00</td> <td rowspan="4">5. 参考図(1) 図A</td> </tr> <tr> <td>タイプB</td> <td>600mm以下</td> <td>0.83</td> </tr> <tr> <td>タイプC</td> <td>600mm以下</td> <td>1.67</td> </tr> <tr> <td>タイプD</td> <td>600mm以下</td> <td>1.39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ジオテキスタイル敷設の施工量は、ジオテキスタイル敷設面積を計上し、算出については下図及び次式の通りとする。</p>  <p>ジオテキスタイル敷設面積 = $a_1 + a_2 + a_3 + \dots$ (m²) $a_1, a_2, a_3 \dots$ ジオテキスタイル工一段当たり敷設面積 (m²)</p> <p>ジオテキスタイル一段当たり敷設面積は、ジオテキスタイル工盛土工範囲における、一段当たりの底面積を算出するものとする。また、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。</p>  <p>(4) ジオテキスタイル工盛土工範囲以外の普通盛土工については、「第1編(共通編)2.1土工」により算出するものとする。</p> <p>(5) ジオテキスタイル(材料費)は、巻き込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積(m²)を規格ごとに算出する。</p> <p>(6) 盛土材においては、一層当たりの施工高を規格に記載する。</p> <p>(7) コンクリートブロック積が必要な場合は別途考慮する。</p> <p>(8) ジオテキスタイル盛土工範囲の盛土材については、必要に応じて別途計上する(参考図(1)参照)。</p> <p>1-6-8</p>	壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数量	標準図	鋼製ユニット	タイプA	500mm以下	個	100	5. 参考図(1) 図A	タイプB	600mm以下	83	タイプC	600mm以下	167	タイプD	600mm以下	139	壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数量	標準図	鋼製ユニット	タイプA	500mm以下	個	1.00	5. 参考図(1) 図A	タイプB	600mm以下	0.83	タイプC	600mm以下	1.67	タイプD	600mm以下	1.39	<p>現行どおり</p> <p>削除</p> <p>(8) (7) ジオテキスタイル盛土工範囲の盛土材については、必要に応じて別途計上する(参考図(1)参照)。</p>	<p>記載の修正</p>
壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数量	標準図																																							
鋼製ユニット	タイプA	500mm以下	個	100	5. 参考図(1) 図A																																							
	タイプB	600mm以下		83																																								
	タイプC	600mm以下		167																																								
	タイプD	600mm以下		139																																								
壁面材種類	タイプ	一層当り施工高	単位	数量	標準図																																							
鋼製ユニット	タイプA	500mm以下	個	1.00	5. 参考図(1) 図A																																							
	タイプB	600mm以下		0.83																																								
	タイプC	600mm以下		1.67																																								
	タイプD	600mm以下		1.39																																								
		<p>(控え頁)</p> <p>2/3</p>																																										

土木工事数量算出要領(案) 正誤表

誤	正	備考
<p>5. 参考図(標準断面図) (1) 施工法別参考図</p> <p>図A 鋼製ユニット工法参考図 図B 巻き込み工法(壁面材なし)参考図</p> <p>図C 普通敷設工法(壁面材なし)参考図</p> <p>(2) 施工数量標準図</p> <p>図① 鋼製ユニット施工数量標準図</p> <p>1-6-9</p>	<p>5. 参考図(標準断面図) (1) 施工法別参考図</p> <p>図A 鋼製ユニット工法参考図 図B 巻き込み工法(壁面材なし)参考図</p> <p>図C 普通敷設工法(壁面材なし)参考図</p> <p>(2) 施工数量標準図</p> <p>図① 鋼製ユニット施工数量標準図</p>	<p>図の削除 ※平成31年度から 変更なし</p>
		<p>(控え頁) 3/3</p>